

算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分母がちがう分数のたし算 / 理解シート
------------	---	--

帯分数 + 帯分数 = 帯分数で、答えが約分できる計算方法を教えて

(帯分数 + 帯分数 = 帯分数)



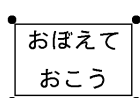
つうぶん
通分してたし算するんだ。分数部分・整数部分どうしをたし算するんだ。かぶんすう やくぶん分数部分が仮分数で約分できるときは、約分して真分数にしておくんだよ。



$1\frac{1}{2} + 2\frac{9}{10}$ や $3\frac{3}{10} + 1\frac{5}{6}$ のたし算をしましょう。

① $1\frac{1}{2} + 2\frac{9}{10} = 1\frac{5}{10} + 2\frac{9}{10}$ ・通分する。分母は、2と10のさいしゅうこうばい最小公倍数の10。
 $= 3\frac{14}{10}$ ・ $1\frac{1}{2} = 1\frac{1 \times 5}{2 \times 5} = 1\frac{5}{10}$, $2\frac{9}{10}$ はそのまま。
 $= 4\frac{2}{5}$ ・分数部分 $\rightarrow \frac{5}{10} + \frac{9}{10} = \frac{14}{10} = 1\frac{2}{5}$

② $3\frac{3}{10} + 1\frac{5}{6} = 3\frac{9}{30} + 1\frac{25}{30}$ ・10と14のさいだいこうやくすう最大公約数の2で約分する。
 $= 4\frac{34}{30}$ ・整数部分 \rightarrow 1くり上げて、 $1 + 1 + 2 = 4$ 。
 $= 5\frac{2}{15}$ ・通分する。分母は、10と6の最小公倍数の30。
 ・分数部分 $\rightarrow \frac{9}{30} + \frac{25}{30} = \frac{34}{30} = 1\frac{2}{15}$
 ・30と34の最大公約数の2で約分する。
 ・整数部分 \rightarrow 1くり上げて、 $1 + 3 + 1 = 5$ 。



答えの分数部分が仮分数で約分できるときは、約分して、整数部分へ1くり上げて、分数部分は真分数にします。